

## 臥竜公園の設計

明治・大正期の須坂町は、製糸業が発達し県下有数の製糸の町として活気にあふれていました。大正15年5月、須坂町々長となった松下金六は、製糸工場で働く工女や職工さんたちを始め町民の健康増進を願い、公園設計を林学博士本多静六東京農科大学（現東大農学部）教授に委嘱しました。そして、大正15年3月より博士の現地調査が行なわれ、同年5月に「須坂町公園設計書」が完成し報告されました。

この「須坂町公園設計書」は、「臥竜公園」「鎌田山公園」「南原河沿公園」の三つの公園構想をもつ遠大な設計書でした。それは、今日にみる「臥竜公園」「鎌田山遊歩道」「百々川河川敷緑地公園」となって、博士の理念が受け継がれています。

## 臥竜山百番観音

興國寺二十世瑞応麟祥和尚の発願で、牧七郎右衛門等この趣旨に賛同した人々によって建立されました。

天明年間（1781～88年）に須坂藩上町の桶屋平左衛門が西国・阪東・秩父の札所を巡礼し、その靈場の土を小瓶に入れて持ち帰り、臥竜山中に札所を比定し、その土を埋め石碑を建てたのが、臥竜山百番観音であると伝えられています。この臥竜山観音靈場を一巡すると、西国・阪東・秩父巡礼と同じ功德を得られるといわれています。観音碑は下図のように西国・阪東・秩父と様式が統一されて建立されています。西国の一一番は城鼻にあり、阪東の一一番は松尾口、秩父の一一番は旧伊香保温泉裏よりスタートするようになっています。

ごうあと  
壇跡

昭和19年、戦況は本土決戦の決意を決定し、大本営の松代移転が準備されていました。時を同じくして重要軍需品防衛分散のため、東京陸軍兵器補給廠の須坂基地設営がすすめられました。この為に臥竜山々腹を掘削したあとが悲話として語られる臥竜山の壇跡です。現在は危険防止のため埋めもどされ往時のよすがを知る方も少なくなりました。（×で示した地点）

## 根あがりねじれ松

根が地表にせりあがり、樹幹がねじれて成長していく老松が、北峰稜線に19本、南峰稜線に6本確認されている。ねじれは何らかの事由による成長の不均衡によって生じたもの、根あがりは地下がかたく且つ表土が雨水に洗い流されることによってできたのではないかと解されている。平成元年市の文化財（天然記念物）に指定された。



## 臥竜山観音堂

享保3年（1718）に須坂藩第四代藩主堀直佑の寄進したもの。本尊は運慶作の聖観音といわれている。観音堂は当初は懸崖造りのものであったが、長い年月の風雪などの老朽や失火などにより再三再建されて来た。縁日は毎年4月17日。現在祭りの当日は、高山高雲作といわれる铸造の觀世音菩薩を祀って祭りが行なわれる。

## 臥竜山中の句碑・歌碑・記念碑・頌徳碑

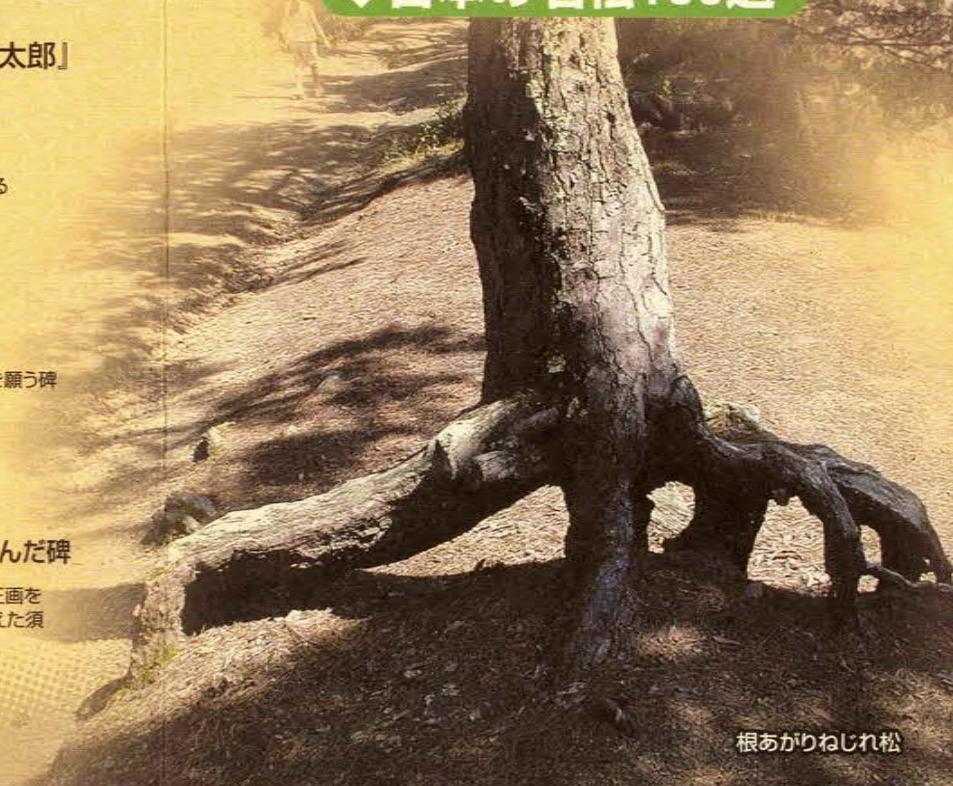


- ① 月見塚 臥竜山々頂  
『雲折り折り人を休める月見か那 はせを』  
碑陰 明治二十七年 桜の庵芳谷建立
- ② 臥竜山々頂 北  
『咲けば散る浮世ながらも初ざく良 芳谷』  
碑陰 明治三十九年弥生 有志連 田中禾秀・駒津竜美・吉越春天・丸山梅笠・小出晴光・土屋墨山・羽生田玄司
- ③ 臥竜山々頂 南  
『轉りや三太刀七太刀剣の舞 青邨』  
碑陰 昭和五十三年建立 山口青邨先生来遊の地
- ④ 臥竜山昇竜坂  
『田植うるは土にすがれるすがたせり 純夫』  
碑陰 昭和二十七年十一月十一日
- ⑤ 臥竜山昇竜坂 越寿三郎顕彰碑の短歌  
『ひとすじに郷土の栄え的として  
けはしき山坂風雨に耐へて』  
碑陰 昭和五十一年四月 越寿三郎翁顕彰会 建立  
代表 井出郡治、発起人 協賛者連記（略）
- ⑥ 臥竜山 管絃の歌碑  
『掃きよせて焚けば素直にけむるなり  
松の落葉も萩の枯れ葉も 篠』  
『冬來ると清らに瘦せてあけくれる  
何もなきわが思惟の山川 信太郎』  
碑陰 昭和五十八年十月 白夜短歌会有志建
- ⑦ 竜ヶ池臥竜滝南  
竜ヶ池開拓記念碑 竜ヶ池開池の経緯が記されている  
権密顧問官正三位勲一等法学博士原嘉道題額  
衆議院議員 須坂町長 田中邦治撰  
衆議院議員 北原癡山書
- ⑧ 昇竜坂満州珠山開拓慰靈碑  
満蒙開拓珠山上高井開拓団の殉難者の靈を慰さめ、世界平和を願う碑  
昭和三十七年十一月十八日建立
- ⑨ 北峯あすまや北 文王の絵像碑  
孔子が最も尊敬したといわれる  
周の聖人文王の絵像を刻んだ碑  
唐の顏暉（宋の有名な宮廷仏画師）が描いた文王画を興國寺瑞応和尚が拝写し、百番観音の勧請を支えた須坂藩家老駒沢清泉が碑陰を識している。  
昭和三年丙戌（1766）三月中浣日建立

ようこそ  
臥竜公園へ臥竜公園を100倍楽しむ  
散策マップ

◆さくら名所100選

◆日本の名松100選



臥竜公園は、“春は花、夏の木風に秋の紅葉、冬は渡りの冬鳥に雪景色”と四季を通して楽しめる市民憩の公園です。

公園の桜は「さくら名所100選」に、臥竜山の松林は「日本の名松100選」に選ばれ、動物園では人気者アカカンガルーのハッチファミリーをはじめ、かわいい動物たちがお待ちしています。

臥竜山中には、古墳や須田氏の古城跡、須坂藩ゆかりの観音堂や臥竜山百番観音、往時の文化を偲ぶ祠や碑など歴史を物語る史跡や文化財が点在しています。

健康づくりのウォーキングに、ゆっくりくつろいだ散歩に、時には気ままな逍遙に公園の不思議発見を楽しんでください。

須坂市臥竜公園管理事務所（須坂市動物園）

TEL 026-245-1770 FAX 026-248-1793

E-mail : suzakazoo@city.suzaka.nagano.jp

URL http://www.city.suzaka.nagano.jp/shoukou/kanko/GARYU/garyu.php

協力 / 須坂市立博物館

2010.4.18.000

根あがりねじれ松

# 臥竜公園散策MAP

## ウォーキング(散策) モデルコース

### わいわいファミリーコース

全長 2040m  
昇竜口 → 昇竜坂 → 観音橋 → 松尾社 → 山頂  
所要時間 約60分

やわらかく幅広い比較的ないだらかなファミリー向き往復コース。山頂まで続く尾根を登ると360°の絶景が楽しめます。  
(消費カロリー: 約160kcal)

### ぐるっと一周コース

全長 1570m  
昇竜口 → 山頂 → 松尾社 → 観音橋 → 須坂城跡 → 城山口  
所要時間 約70分

勾配の急な坂道から始まり一気に山頂へ。根あがりねじれ松の尾根を下り観音橋へ。観音堂、須坂城跡など臥竜山をほぼ一周するコース。  
(消費カロリー: 約120kcal)

### のんびりロマンチックコース

全長 950m  
昇竜口 → 昇竜坂 → 観音橋 → 観音堂 → 須坂城跡 → 城山口  
所要時間 約40分

観音堂へ続くゆるやかな小道を通り須坂城跡へ。そこから西の尾根の下り道は北信五岳、北アルプスを展望し、夕方にロマンチックなサンセットポイントです。  
(消費カロリー: 約75kcal)

